

令和3年度「市民と議会の対話集会」記録

—— 文教民生委員会 ——

■開催日時 令和3年11月24日（水） 15:00～16:30

■開催場所 福岡総合事務所世代交流室

■懇談先 文化財調査・整理愛護団体加入者（40名）

■出席議員 文教民生委員会委員
吉村孝志（委員長）、宮嶋寿明（副委員長）、粥川茂和
勝彰、木下律子、柘植貴敏、黒田ところ

■懇談テーマ 文化財の現状と課題について

■懇談内容

（予め14人の発言者が指名されており、発言に時間を要すことから、議員は応答せず、別機会に行うこととした。）

●遠山家伝来資料調査委員

市内の文化財は分散保存中だ、高山小学校跡施設に統合保存し活用することを望む。

●中津川市文化保護委員（神坂）

高山小学校跡施設に統合保存し活用することを望む。

文化財保護事業は収支が悪いが、必要であるとの雰囲気づくりが大事。

●中津川市文化保護委員（川上）

統合保存には原則賛成だが、地域事情にも配慮が必要。

●中津川市文化保護委員（坂下）

苦勞して設置した地元の保存活用施設「椛の蔵」を残してほしい。

高山小学校跡施設に統合保存し活用することには賛成。

●中津川市文化保護委員（加子母）

報告すべき発言無し。

●中津川市文化保護委員（付知）

個人所蔵文化財を安定して継続保存する手立て必要。

●所属不明（福岡）

高山小学校跡施設に統合保存し活用することを望む。

●元中山道歴史資料館々長（中津）

歴史資料を観光資源として発信することが重要、広重作の和宮は、間氏所有であるが、当市で購入すべきだ。

●坂本地区文化遺産保存会々長（坂本）

会の活動状況を紹介し、文化財のイメージカラー統一を提案。

●落合宿本陣ガイドボランティアの会代表（落合）

落合本陣は国指定の文化遺産であるが、補修箇所をビニールシートで覆ってある。早期の工事を望む。

旧市内在住者に文化財保護委員を任命しているか？

●苗木城跡・苗木遠山資料館友の会々長（苗木）

苗木城資料の収納スペースの確保と、学芸員の増員を望む。

●社会教育委員・公民館運営審議会委員（阿木）

地域内に資料の保存、活用施設が必要だ。

●神坂公民館講座（歴史系）講師（神坂）

市議会議員に問う、歴史文化財についてどのような認識でいるか？

市民は歴史文化財への関心薄い、ふるさと学校を子供たちが歴史を学ぶ拠点にしたい。

●中津川市文化保護委員の代理出席

地元の資料は地元で保存してこそ価値がある。

●加子母地区郷土文化保存会々員（加子母）

当地の郷土館にはトイレも無く不都合が多い、整備を望む。

地元の資料は地元で活用すれば郷土愛が育まれる。

●ふくおかまちづくり協議会事務局（福岡）

総合計画には地域の文化財を保存する項目の記載がない、同後期事業実施計画には盛り込むよう望む。

以上